

流域のあらゆる関係者が 連携、協力して豪雨災害に備えます

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

『第8回大和川上流部大規模氾濫に関する 減災対策協議会 WEB会議』開催～

大和川河川事務所と奈良県、市町村(大和川上流域)等は、連携、協力して大規模氾濫に備え、逃げ遅れゼロ社会を目指して、取組を進めています。

今回の協議会では、上流域24市町村のうち10市町長に参加いただき、マイ・タイムライン、要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練の促進や河川情報提供の充実といった重点実施項目の確認、令和7年を目標とした、減災に係る取組方針(案)についての意見交換や各機関の具体的な取組状況についての情報交換が行われました。

概要

- 日時: 令和3年7月20日(火) 14:00～15:00
- 開催方法: オンラインによるWEB会議システムにて開催
- 構成員: 34名(代理含む)

協議会の構成メンバー

構 成 員	構 成 員	構 成 員
奈良市長	斑鳩町長	大淀町長
大和高田市長	安堵町長	奈良地方気象台長
大和郡山市長	川西町長	奈良県土木マネジメント部長
天理市長	三宅町長	奈良土木事務所長
橿原市長	田原本町長	郡山土木事務所長
桜井市長	高取町長	高田土木事務所長
御所市長	明日香村長	中和土木事務所長
生駒市長	上牧町長	吉野土木事務所長
香芝市長	王寺町長	西日本旅客鉄道株式会社 安全推進室室長
葛城市長	広陵町長	近畿日本鉄道株式会社 大阪統括部施設部長
平群町長	河合町長	近畿地方整備局大和川河川事務所長
三郷町長		【オブザーバー】国土地理院 近畿地方測量部

主な議事

- 議題事項
令和3年度の重点実施項目
大和川上流部大規模氾濫域の減災に係る取組方針(案)の目標更新
- 報告事項
流域治水プロジェクトについて
令和2年度 機関ごとの具体的な取組

WEB会議の様子



委員の方の主な発言

- 有用な技術や資機材を持つ事業所等に消防団サポーターとして登録し、地域に根差した消防団の力を災害時に活かしていきたい。
- 氾濫をできるだけ防ぎ、減らすための対策として、雨水貯留施設の整備とため池・治水利用施設の整備に取り組んでいく。
- 各自治会や耕地組合と協力し、大雨が予想される際に事前のため池の水位を下げてもらう協定を結び貯留対策に取り組んでいる。
- 地元バス会社と防災協定を結び、要配慮者に早めの避難にご協力いただくという取組を5月の訓練で試行的に実施した。
- 在宅でもできる訓練して、今年の5月に各家庭に安否確認の防災訓練を呼び掛けてほぼ全域で参加をしていただいた。
- 消防庁とNPO法人と協力して子供の頃から防災意識を高めることを目的とした防災キャンプをこの秋に計画している。

減災のための取組報告



チャート式を活用した
ハザードマップの作成(橿原市)

新型コロナウイルスに配慮した
避難所運営訓練(葛城市)



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課

〒582-0009 大阪府柏原市大正2-10-8 TEL 072-971-1381